

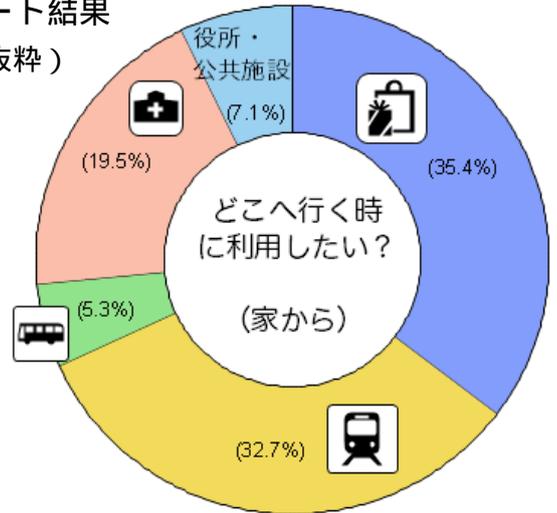
申請事業名	高齢者移動支援と地域活性化に役立つ「自転車タクシー」提案	【主な活動分野】  環境
団体名	持続可能な地域交通を考える会 (SLTc)	
活動地域 (該当に 印)	川崎市全域 川崎区 幸 区 中原区 高津区 宮前区 多摩区 麻生区 川崎市外 ( )	【助成額】 1,000,000 円
助成メニュー	スタートアップ助成 ステップアップ助成 30 100 300	



「日吉まつり」会場(幸区・夢見ヶ崎動物公園)

最新の自転車タクシー「シクロポリタン」が、市内3区(川崎、幸、中原)を走りました。

アンケート結果  
(抜粋)



助成事業の概要

事業目的 及び背景	川崎市内の平地では自転車での移動が便利な半面、高齢化などで自転車等の私的交通手段を利用(自力で移動)できなくなると、途端に毎日の生活にも困ってしまうとの声がありました。そこで、既存の路線バスなどの公共交通サービスを補完・充実させるために、「自転車タクシー」の活用を提案することで、当会が目指す、毎日の生活に欠かせない地域交通の現場で家用車に頼らず、人と環境にやさしく安全・快適な地域づくりの一助とすることを目指しています。
事業内容	前年度は、無料試乗会と乗客アンケートを実施して「自転車タクシー」の効果を確認しました。今年度は、さらに多くの方に乗ってもらえるよう運行機会を増やすとともに、すでに市外で事業を行っているNPO等と助け合う仕組み(地域間連絡会)をつくり、継続的な運行を実現するために必要となる運転手研修などのノウハウを共有・蓄積することができました。 なお、実施に際しては本助成金に加え、地域貢献への関心が高い市内企業5社からの協賛と、3区(川崎、幸、中原)の商店街等の協力を得るなど、地域の皆さんのお力で本事業を行うことができたことをご報告し、この場を借りて御礼申し上げます。
実施事業の 成果と課題	乗客の皆さんはもちろん、商店街等からもご好評をいただきました。また、川崎市「スマートライフスタイル大賞」を共同受賞する、タウン紙で大きく紹介されるなど、広報でも成果がありました。一方、今後の事業展開に必要な運営資金をより広くご協力いただく方法や、車両の調達など、課題も残っています。継続運行には、地域の皆さんの一層のご理解ご協力が欠かせません。
当事業の 今後の取組み	商店街等や近隣住民のみならず、行政・警察署等のご理解・ご協力が不可欠です。商店街等の協力が得られるよう、川崎商工会議所の「街おこし協力隊」と連携しながら事業を進めます。また、安全な運行をするために「(仮称)自転車タクシー連絡会」を立ち上げ、他地域の事業者との連携体制を深めてゆきます。

共同実施事業：



1 申請事業報告書

申請事業名	高齢者移動支援と地域活性化に役立つ「自転車タクシー」提案
申請時の事業内容 (400 字程度)	左記と比較しての変更点 (400 字程度)
<p><u>申請書 P2「申請事業計画書」の「事業内容」を要約転記</u></p> <p>前年度は、試乗会やアンケート調査により、高齢者に加え、イベント等の会場内での利用や、親子連れ客へのサービス提供等のニーズが高く、地域コミュニティや商店街などの活性化にも役立つことが確認された。また、他団体との連携拡大や広報でも成果があった。</p> <p>一方で、継続的な運行を実現するための体制整備や、地域や企業等との協力体制の強化、市民の関心を高める広報強化等の課題が見出されたため、今年度は下記の事業を行う。</p> <p><b>【運行実験】</b>(2ヶ月程を想定)</p> <p>前年度より長い期間、車両を借り切って運行実験を行う。「自転車タクシー」を実体験できる機会を増やすとともに、継続運行を行う際の課題を洗い出す。</p> <p>なお、車両賃借および安全確保のため、運行実績を持つ NPO の協力を得て実施する。</p> <p><b>【地域間交流の促進(地域間連絡会の開催)】</b>(年度内 2 回程を想定)</p> <p>ノウハウ習得や協力関係の構築などにより、市内での効果的な事業構築に役立てるため、すでに自転車タクシーを運行している近隣地域の団体との情報交流の場を設ける。</p> <p><b>【運行体制の整備、協力・協賛の募集、イベント出展】</b>(通年)</p> <p>継続運行に必要な体制整備を行うとともに、イベント出展等により地域交通に関する啓発活動を行い、地域や商店・企業などからの協力・協賛や、市民のより幅広い理解を得る。</p>	<p><u>変更があった場合は、内容・理由を具体的に記入</u> <u>変更なしの場合は「変更なし」と記入</u></p> <p><b>【運行実験】</b>(変更申請済)</p> <p>運行実験の実施に際し、昨年度事業で借用した車両は今後の製造予定が無く継続的な利用が難しいと判明したことや、今年度よりフランス製の量産車が普及し始めたことなどを受け、今後の事業継続に資するよう車両を変更した。その影響でスケジュールおよび車両運搬回数を変更した。</p> <p>また、安全確保に万全を期すため交通ルールの指導を強化したことや、雨天が重なったことを受け、研修期間を長く取り、運行実験は多数の集客が見込めるイベント開催時に集中実施することで、実体験する機会を増やすことと、継続運行を行う際の課題を洗い出す目的を達成した。</p> <p><b>【地域間交流の促進(地域間連絡会の開催)】</b></p> <p>予定通り実施。各地の情報交換や運行ノウハウの共有などを行うとともに、信頼関係を築いて商店街のイベント需要等に柔軟に対応できる体制ができるなど、想定以上に有意義な連携の場をつくることができた。</p> <p><b>【運行体制の整備、協力・協賛の募集、イベント出展】</b></p> <p>商店街からの協力が得られ、イベント出展の機会を当初計画よりも増やすことができた(10月「いいじゃん・かわさき」)。</p> <p>11月「ネイチャーフェスティバル」は当日の荒天により中止(延期)となり出展できなかった。</p> <p>一部スタッフの事情で本事業に参加できない期間が生じたことから、限られた人手でより高い効果を得るため、ホームページ制作等の一部計画を変更したが、一方で商店街等の協力により商店街のホームページやタウン紙の特集号で大きく紹介されるなど、他媒体での広報を充実することができた。</p>

## 申請時のスケジュールと実施内容の比較

【申請時のスケジュール】 申請書 P3「スケジュール」欄の記載内容を要約転記	【実施内容(手順)】 実際の事業の実施内容を、実施方法・活動地域・会場、参加者なども含めて具体的に記入
[4月] 打ち合わせ(年間予定の検討)、協賛募集(以降随時)	[4月] 打ち合わせ(年間予定の検討、以降随時)
[5月] 打ち合わせ(運行地域の検討、リーフレット制作)	[5月] 協賛募集の方法検討、協賛募集チラシ作成
[6月] 打ち合わせ(運行地域との調整、イベント出展準備) イベント出展「高津区市民活動見本市」(予定)	[6月] 運行計画の策定 イベント出展「高津区市民活動見本市」
[7月] 打ち合わせ(連絡会準備、イベント出展準備) 地域間連絡会(先進事例の視察など) イベント出展「なかはらっぱ祭り」(予定)	[7月] 連絡会準備、イベント出展準備  イベント出展「なかはらっぱ祭り」
[8月] 打ち合わせ(運行実験準備) 車庫の手配、商店街等との調整、チラシ制作	[8月] 地域間連絡会(事例視察と情報交換) 運転手研修の計画、車庫の手配
[9月] 打ち合わせ(運行実験準備、アンケート内容検討) 車両運搬の手配、所轄警察署等との調整	[9月] 所轄警察署との調整、車両変更の手配 運転手研修
[10月] 打ち合わせ(運行実験準備、アンケート準備) 運行実験開始(2ヶ月程度) 随時アンケート実施	[10月] 運転手研修 運行実験・イベント出展「いいじゃん・かわさき」
[11月] 打ち合わせ(イベント出展準備) イベント出展「日吉まつり」(予定) イベント出展「ネイチャーフェスティバル」(予定) 運行実験終了	[11月] 運行実験・イベント出展「日吉まつり」 「ネイチャーフェスティバル」は雨天延期し 「日吉まつり」と重なったため出展できず。
[12月] 打ち合わせ(運行実験反省会、アンケート集計)	[12月] 運行実験(法政通り商店街、国際交流センター)
[1月] 打ち合わせ(イベント出展準備) イベント出展「かわさきボランティア・市民活動フェア」(予定)	[1月] アンケート集計、連絡会準備 イベント出展「かわさきボランティア・市民活動フェア」 地域間連絡会(課題の共有、報告、情報交換)
[2月] 打ち合わせ(連絡会準備、当年度事業の振り返り) 地域間連絡会(課題の共有、取り組み事例などの情報交換)	[2月] 運行実験反省会、当年度事業の振り返り 協賛企業向け報告・商店街向け案内資料の作成
[3月] 打ち合わせ(当年度事業を総括し、翌年度以降の事業展開を検討)	[3月] 当年度事業の総括、翌年度への引き継ぎ

各月の枠の高さ・幅は各自で調整可

事業の成果・効果 (400 字程度)	事業を実施した結果見出された課題 (400 字程度)
<p><u>事業実施により得られた成果・効果(地域等に与えた影響)を記入</u>  <u>ステップアップ助成受給団体は申請時に記入した事業の実施効果の達成状況も併記</u></p> <p><b>地域や企業等との協力体制の強化</b>  <b>【地域コミュニティや商店街の活性化】</b>                  地域貢献に関心の高い市内事業者のご理解ご協力が得られ、事業運営に十分な協賛金を頂くことができました。また、前年度の 2 区(川崎、幸)に加え中原区においても、地域活性化に関心のある商店街等から運行場所の提供などの協力を得ることができた。                  本事業は 2 団体と大学研究室が連携したからこそ出来た事業だが、さらに地元企業や商店街が加わることで、より充実した地域貢献を行うことができた。</p> <p><b>市民の関心を高める広報強化</b>  <b>【エコ意識の啓発】【人と環境にやさしく、いつまでも安心して住み続けられる地域づくりに貢献】</b>                  上記商店街の取り組みによりタウン紙の特集号で紹介されるとともに、川崎市の「スマートライフスタイル大賞」優秀賞を共同受賞するなど、「自転車タクシー」はエコで楽しいまちづくりに貢献する事業として幅広く広報することができた。</p> <p><b>継続的な運行を実現するための体制整備</b>                  地域間連絡会の開催により既存事業者との協力関係を構築したことで、より深い情報収集が可能になった。また、運転手研修を実際に行ったことにより、従来行われてきた研修内容が経験の伝承やOJTに偏っている等、事業展開上の課題を洗い出すことができた。                  既存事業者の無事故運行実績に加え、日頃より交通安全に取り組んできた当会が築いてきた経験を活かして全国初の「自転車タクシー」用交通ルール教習課程を策定するなど、体制整備を拡充することができた。                  上記のように、川崎発・全国初の試みとして取り組んできた地域間連絡会による連携づくりが早速奏効し、本事業の成果を得ることにつながった。</p> <p><b>【元気な高齢者の介護・孤立予防】</b>                  乗客より計 122 枚のアンケートを回収できた。その結果より、高齢者や足の悪い人が利用すると便利、身近になってほしい、といった意見が寄せられるとともに、運行実験中にも、ぜひ地元で走ってほしいといった声かけを多くいただいた。</p>	<p><u>課題についてはその要因も記入。感想は不可</u>  <u>左に対応する部分は比較できるように記入</u></p> <p><b>継続的な運行を実現するための体制整備</b>                  一部事業者が使っている車両は老朽化していることに加え、完全オーダーメイドで設計図すら無く継続性にも問題があることが、本事業実施により明らかになった。また、損害賠償保険も個別に交渉する必要があるなど事業展開上の課題になり得る事柄が新たに浮上した。車両の問題は、連絡会参加事業者の協力を得られ、2012 年より普及し始めたフランス製車両を借りることができて解決したが、保険等の課題については、今年度事業の成果である地域間連絡会の場を引き続き活用しながら解決を図ってゆきたい。</p> <p><b>地域や企業等との協力体制の強化</b>                  今回の事業では左記の通り協力を得られる商店街等が拡大したが、必ずしも高齢者等の需要に応じた位置関係になく、当初想定していた高齢者の利用が得られにくい面もあった。                  また、関心はあるが協力まで至っていない商店街等もあり、今年度制作したリーフレットによる引き合いもあることから、引き続き協力関係の拡大を図ってゆきたい。</p> <p><b>【元気な高齢者の介護・孤立予防】</b>                  乗客のうち 60 歳以上は 14%(アンケート回答より)となり高齢者の利用は限られた。また地域包括支援センターと協力し利用を募集するも、前述のような理由により運行範囲・時期と需要が合わないなど、需要と供給を結びつける難しさが見出された。                  一方、親子連れの利用が多く、朝夜の子どもの送迎利用を期待する意見が多く寄せられた。今回は安全確保のため日中運行に限ったことから対応できなかったが、高齢者以外の需要についても対応を検討してゆく必要性が見出された。</p> <p style="text-align: right;">印は事業内容欄から、[] は実施効果から</p>

## 2 申請事業収支計算書

## (1) 収入

(単位:円)

費目	内訳・算出根拠	申請時 予算額	決算額	増減理由等
事業収入	運賃	10,000	0	協賛企業のご厚意と経費削減努力により事業費が充分確保できたことから、利用者に還元した。
他の助成 金収入				
その他の 収入	協力・協賛金	342,000	253,500	経費削減努力等により経費を削減するとともに、協賛募集が奏効し、協賛金を充分確保することができた。
	協力金			
	事務所賃借料分担金			
団体負担金		43,640	5,407	
かわさき市民公益活動助成金申請額		1,000,000	1,000,000	
収入合計		1,395,640	1,258,907	

## (2) 支出 行数の増減は、調整可。

(単位:円)

費目	内訳・算出根拠	申請時 予算額	決算額	増減理由等
謝礼金等	運転手研修謝礼	475,000	384,000	【11/17 変更申請・承認済】
	運転手謝礼			
	配車受付担当者謝礼			
	イベント出展スタッフ			
旅費・交通費	打ち合わせ等スタッフ	158,000	154,440	運転手の交通費は減。研修や関係各所との調整負担増に伴うスタッフ交通費は増。
	運転手、配車等受付担当			
	地域間連絡会スタッフ			
消耗品費	印刷(用紙、インク、チラシ類製作用品)	198,000	200,424	【11/17 変更申請・承認済】
	事務・展示用品、自転車補修部品			
	書籍・資料			
印刷製本費	印刷機使用料	99,760	83,436	印刷機使用料は領収証紛失のため担当者が負担し、未計上とした。 キャンペーン値引きの活用等により経費削減。
	写真、コピー			
	ポスター、リーフレット			
通信運搬費	車両運搬	128,200	165,287	【11/17 変更申請・承認済】 車両運搬は運送事業者の値引きを受けられ、PHS 電話はキャンペーン料金適用等により、各々経費削減。
	郵便・メール便			
	宅配便			
	PHS 電話 ホームページ・ドメイン			
使用料 及び賃借料	自転車タクシー車両	199,000	134,440	【11/17 変更申請・承認済】 車庫は変更の事情に理解を得られ半額に値引きを受けられた。
	自転車タクシー車庫			
	会議室(打ち合わせ)			
	会議室(地域間連絡会)			
ステップアップ助成のみ	備品費			
	当該事業に係る団体の運営維持費( )	事務所等賃借料	132,000	132,000
その他経費	振込手数料	5,680	4,880	【11/17 変更申請・承認済】 「ネイチャーフェスティバル」雨天中止のため出展料減。
	出展料			
	傷害保険料			
支出合計		1,395,640	1,258,907	予算額は変更申請前の金額

( ) 当該事業に係る団体の運営維持費は今回の申請事業の実施に伴い新たに必要となった部分に限ります。